

NOKYO SHIKA

JA志賀



第57回通常総代会の開催結果について

通常総代会特集号



ご挨拶

代表理事組合長 新谷 克己

暑中お見舞い申し上げます

猛暑の候、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素よりJA事業に対し格別のご理解・ご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

さて、先に開催の第57回通常総代会にあつては、新型コロナウイルス感染状況が一定の落ち着きを見せていることを受け、3年ぶりに総代各位の実出席のもと開催し、全議案滞りなく承認されましたことをご報告申し上げますとともに、総代各位のご協力に対し深く感謝申し上げます。

令和3年度は、2年続きのコロナ禍の影響からJA主催のイベントや会合、訪問活動等の自粛期間の長期化もあり、一般的に低調な事業展開を余儀なくされました。加えて、コメの需給バランスが一向に改善しないことから、令和3年産米価格の大幅下落を招くなど、農業者にとっても極めて深刻な1年となりました。このような中、決算収支について

た。これも偏に組合員ならびに利用者の方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

第6次中期3か年計画がスタートします

令和3年5月24日より、6支店の統廃合により本店1階に中央支店をオープンするとともに金融共済部に渉外課を新設いたしました。令和2年度の新富来支店、新志賀農機センターのオープンと併せ、内部機構の整備は一巡したと考えており、一層の業務の効率化と組合員サービスの維持・向上に努めて参る所存です。

令和4年度をスタートとする第6次中期3か年計画では、「不断の自己改革によるさらなる進化」をテーマに『自己改革工程表』に基づく検証作業を加えながら、農業と地域を取り巻く諸課題の解決に取り組んでいくこととしています。

そのためにも、組合員のメンバーシップ強化とJA経営基盤の強化が強く求められています。また、当JAの組合員数の減少と事業規模に鑑み、役員定数削減のための定款変更を承認いただき、令和5年の改選期より適用することとしました。

持続可能な地域農業振興に取組みます

ロシアのウクライナ侵攻に端を発した経済制裁の応酬は、今や食料安全保障問題にまで発展しており、低自給率・資源不足の日本にとつてもはや国策による対応が急務となっております。肥料・農薬等農業資材の高騰に対しては先の通常国会や参議院議員選挙においても重要テーマとして議論されており、JAグループ挙げて確固たる支援策を国・県・市町に要望していく所存です。

県内JAの広域合併構想につきまして、令和7年4月まで先送りとなりましたが、引き続き当JAとしてどういう形が望ましいのかしっかりと組合員の皆様と議論し、近隣JAとの協議を進めたいと考えています。そのためにもJA志賀としての経営基盤・体力を堅固なものにしていく必要があります。

コロナ禍も3年目に入り、令和4年度はウィズコロナの精神で各種イベントを復活・発展させつつ、JAの総合事業機能を十分に発揮して組合員ならびに地域住民の豊かな暮らしを支援して参る予定であり、皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

終わりに、今夏も猛暑・酷暑が予想される中、皆様にはお体ご自愛のうえ一層ご健勝に過ごされますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

役員のご紹介

〔理事 18名〕

代表理事組合長	新谷 克己 (常勤)
常務理事	藤田 修一 (常勤)
常務理事	岡塚 忠浩 (常勤)
理事	吉野 成明 (非常勤)
理事	稲岡 利男 (非常勤)
理事	高井 政義 (非常勤)
理事	野村 時夫 (非常勤)
理事	大石 守 (非常勤)
理事	前田 明美 (非常勤)
理事	谷山 秀信 (非常勤)
理事	蟹屋敷政和 (非常勤)
理事	幸地 厚子 (非常勤)
理事	安田 朗 (非常勤)
理事	石川 外司 (非常勤)
理事	苦谷 秋美 (非常勤)
理事	谷口和喜夫 (非常勤)
理事	山本 茂伸 (非常勤)
理事	古川 勇二 (非常勤)
〔監事 5名〕	
代表監事	島田多加夫 (常勤)
監事	嶋中不二雄 (非常勤)
監事	田頭 善彦 (非常勤)
監事	小橋 敦郎 (非常勤)
員外監事	高山 孝 (非常勤)

『農業と地域に根ざし、 地域社会と共存する JAをめざして』



第57回 通常総代会開催



JA志賀の第57回通常総代会は、6月29日（水）午前10時より志賀町文化ホールで開催しました。

実総代数520名のうち、500名（本人出席126名、議決権行使374名）の出席により会議が成立し、新谷組合長の開会挨拶の後、議長に畠下幹男総代（土田地区）を選任し、議案の審議に入りました。

慎重なる審議の結果、令和3年度の事業報告及び剰余金処分案のほか、上程された全議案が原案通り可決・承認されました。

第57回 通常総代会提出議案

【審議事項】

第1号議案 令和3年度事業報告及び剰余金処分案承認の件

第2号議案 第6次中期3か年計画並びに地域農業戦略の設定の件

第3号議案 令和4年度事業計画の設定の件

第4号議案 定款の一部変更の件

第5号議案 定款附属書役員選任規程の一部変更の件

第6号議案 理事及び監事の報酬に関する件

第7号議案 退任理事に対する退職慰労金支給の件

【報告事項】

① 令和3年度貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書並びに独立監査人及び監事の監査報告について

② 「株式会社JAアグリサポートしか」令和3年度事業報告及び令和4年度事業方針について

③ 「JAバンク基本方針」の変更について

令和3年度 事業報告

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

令和3年度は、前年に続き新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、春先の第4波から夏場の第5波、年明け後の第6波へと感染力を増した変異株の出現に翻弄される1年となりました。加えて、年度末にかけてロシアのウクライナ侵攻が地政学的リスクとなり、原油高や為替円安を招くなど国内経済の先行き不透明感を増幅しました。

こうした中、飲食・宿泊等サービス業の不振継続から米の需給改善が進まず、令和3年産米の価格が大きく下落する一方で、肥料・燃料費等資材コストが上昇するなど、農業者にとって極めて厳しい1年となりました。

J A 事業においても、2年連続のコロナ禍による影響は避けられず、長引く超低金利情勢も相まって厳しい経営環境が続きました。また、米以外の農産物では、当JA特産のこも柿について春先の凍霜害等により出荷量が半減する結果となりました。一方、中期計画の課題であった志賀地区6支店の統廃合を組合員各位のご理解のもと実現し、効率経営に

よる経営基盤強化と組合員サービスの維持・向上に努めました。また、各種事業が停滞する中、共済事業にあっては念願のL A (専任渉外) 体制を構築し、組合員への一層充実した安心・安全の提供に大いに効果を発揮しました。

損益につきましては、組合員・利用者の皆様のおかげによりまして、経常利益20,562千円、税引前当期利益9,748千円という結果を残すことができました。

ここに第57年度における主要事業の概要についてご報告致します。

信用事業

超低金利環境が長期化する中、引き続き当JA独自企画の「退職金定期貯金」や「年金定期貯金」をはじめ、中央支店オープン記念貯金キャンペーン、更にはボーナス時期を捉えた夏・冬の貯金キャンペーンの取り組みを展開し、利用者ニーズに応え顧客基盤の維持・拡大を図りました。また、貸出においては、引き続き住宅・マイカー・教育ローンを中心

に低金利資金の提供に努めるとともに、農業関連資金の保証料助成やコロナ特別対応資金など組合員・利用者ニーズに対応できる体制に取組みました。

共済事業

新たな生活様式の浸透による保障ニーズや、非対面ニーズ等の高まりをはじめとする環境の変化を受け、本年5月より専門知識を具備した職員配置による渉外体制の整備(渉外課新設)を図り、契約者一人一人に最適な保障提案ができるよう利用者満足度向上と繋がり強化に向け取組みました。

購買事業

組合員・利用者の皆様のニーズに応えるため、各部署との連携を密にし、生産コスト低減による農業所得向上の支援に努めるとともに、各種キャンペーン・講習会を開催し、安心・安全で信頼される商品・資材の提供に取組みました。また、農機・自燃部門ではより良いサービス提供に向け技術向上を図り迅速なお客様対応に努めました。

営農指導・販売事業

集落営農組織や盛人会会員をはじめ、認定農業者等へ経営所得安定対策事業への加入申請支援を行い、交付金フル活用への支援に取組みました。また、農機センターとの連携による農機具メンテナンス講習会開催により修繕費削減の貢献に努めました。

基幹作物の米については、「うまい・きれいな石川米づくり+1運動」実践のもと、エコ栽培米(志賀米・能登米コシヒカリ)の生産拡大を図るとともに、土づくりによる良質米生産と反収増加に努めた結果、集荷実績は微増の54,441.5俵(計画対比90.6%)となりました。が、販売高はコロナ禍の米価下落により559百万円(計画対比84.6%)にとどまりました。

そのため、志賀町と協調して米価下落対策助成金の対応を行い、JAは主食用米出荷実績に対して総額386万円の助成を行いました。

また、園芸品目では「能登志賀こも柿」の凍霜害や「能登すいか」及び「能登かぼちゃ」の交配期の雨天が影響して集荷量が減少し、販売高は145百万円(計画対比67.4%)となりました。

令和3年度の主な事業実績

(単位：千円・千ポイント)

項目	計画額	実績額	対 比
貯 金 (平均残高)	47,568,000	46,474,909	97.7%
貸出金 (平均残高)	7,576,000	6,842,060	90.3%
購 買 品	1,605,000	1,485,089	92.5%
販 売 品	1,400,000	1,250,183	89.3%
長期共済(ポイント)	1,850	1,976	106.9%
年金共済(ポイント)	117	105	89.4%

利 用 事 業

各施設では「ゆめみづほ」、「コシヒカリ」、「ひやくまん穀」の3品種を中心に取扱いを行う中、育苗施設では志賀産米の高品質生産を目指し、県指導目標量の遵守や適期播種による健苗・均一化生産をはじめ、播種同時薬剤散布による本田での作業労力軽減と低コスト技術に対応する高密度苗の生産に努めた結果、125,877箱の利用実績となりました。

また共同乾燥調製施設では円滑な施設稼働はもとより、「コシヒカリ」の区分荷受を行うとともにフレコン購入助成の継続実施など利用率向上に努めた結果、主食用米の施設利用量は、1,263t(21,058俵)となりました。

永年勤続
職員表彰

6月29日(水)に開催された当組合通常総代会の席上、優良職員表彰が行われました。

【永年勤続20年】

中村 真理子
(中央支店)



中央支店年金友の会

「喜寿・米寿お祝い」

昨年5月の支店統廃合以来、コロナ禍もあいまって年金友の会活動が見送られていましたが、令和4年度よりあらたに「中央支店年金友の会」を発足し、初年度の企画として、本年度中に喜寿、米寿を迎えられる会員に記念品を贈呈することといたしました。

令和4年度、最初の米寿を4月6日に迎えられた、大家あや子さん(志賀町代田)を皮切りに米寿35名、喜寿31名の対象者を予定しております。

お誕生日まで、お楽しみにお待ちください!!



4/25 大家あや子さん宅前：山崎会長と

中央支店年金友の会役員

(任期：令和4年度～令和6年度)

会 長	山崎 哲夫 (土田地区)
副会長	土田 寿雄 (下甘田地区)
副会長	平澤 勇 (高浜地区)
監 事	野村 征人 (志加浦地区)
会 計	山下 一彦 (中甘田地区)
幹 事	寺田 重男 (堀松地区)
幹 事	川幡 正 (加茂地区)
幹 事	堤谷 一博 (上熊野地区)

よろしくお祈いします!!

令和3年度 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	47,427,307,390
(1) 現 金	153,038,079
(2) 預 金	36,385,677,356
系統預金	35,549,640,183
系統外預金	836,037,173
(3) 有価証券	4,813,450,000
国 債	3,153,400,000
地方債	676,340,000
社 債	983,710,000
(4) 貸出金	6,087,353,812
(5) その他の信用事業資産	34,202,287
未収収益	29,191,535
その他の資産	5,010,752
(6) 貸倒引当金	▲ 46,414,144
2. 共済事業資産	3,296,012
(1) その他の共済事業資産	3,296,012
3. 経済事業資産	464,740,470
(1) 受取手形	1,425,630
(2) 経済事業未収金	361,561,397
(3) 経済受託債権	12,451,043
(4) 棚卸資産	81,655,367
購買品	48,879,898
その他の棚卸資産	32,775,469
(5) その他の経済事業資産	15,478,887
(6) 貸倒引当金	▲ 7,831,854
4. 雑資産	125,602,630
5. 固定資産	1,005,859,566
(1) 有形固定資産	1,004,406,211
建 物	2,462,835,557
機械装置	638,681,351
土 地	122,633,005
その他の有形固定資産	445,478,378
減価償却累計額	▲ 2,665,222,080
(2) 無形固定資産	1,453,355
その他の無形固定資産	1,453,355
6. 外部出資	2,165,872,714
(1) 外部出資	2,189,362,001
系統出資	2,054,772,000
系統外出資	84,690,001
子会社等出資	49,900,000
(2) 外部出資等損失引当金	▲ 23,489,287
7. 繰延税金資産	18,997,426
資産の部合計	51,211,676,208

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	46,162,011,668
(1) 貯 金	46,119,406,982
(2) その他の信用事業負債	42,604,686
未払費用	3,553,338
その他の負債	39,051,348
2. 共済事業負債	212,051,582
(1) 共済資金	117,549,446
(2) 未経過共済付加収入	86,918,382
(3) 共済未払費用	6,108,974
(4) その他の共済事業負債	1,474,780
3. 経済事業負債	203,468,791
(1) 経済事業未払金	148,488,403
(2) 経済受託債務	47,808,113
(3) その他の経済事業負債	7,172,275
4. 雑負債	207,051,164
(1) 未払法人税等	605,200
(2) 資産除去債務	84,200,000
(3) その他の負債	122,245,964
5. 諸引当金	239,057,426
(1) 賞与引当金	10,515,738
(2) 退職給付引当金	210,914,226
(3) 役員退職慰労引当金	17,397,705
(4) ポイント引当金	229,757
負債の部合計	47,023,640,631
(純資産の部)	
1. 組合員資本	4,020,072,271
(1) 出資金	886,523,000
(2) 利益剰余金	3,142,910,271
利益準備金	1,082,949,698
その他利益剰余金	2,059,960,573
リスク管理積立金	679,892,494
農業経営基盤積立金	145,000,000
施設整備積立金	324,000,000
税効果積立金	82,995,595
特別積立金	500,913,815
当期末処分剰余金	327,158,669
(うち当期剰余金)	9,104,890
(3) 処分未済持分	▲ 9,361,000
2. 評価・換算差額等	167,963,306
(1) その他有価証券評価差額金	167,963,306
純資産の部合計	4,188,035,577
負債及び純資産の部合計	51,211,676,208

単体自己資本比率 23.90%

組合員数

資格区分	期 首	当期増加	当期減少	期 末	増 減
正 組 合 員	3,570	33	120	3,483	▲ 87
准 組 合 員	1,936	34	53	1,917	▲ 19
計	5,506	67	173	5,400	▲ 106

出資口数

(単位:口)

資格区分	期 首	期 末	増 減
正 組 合 員	779,314	762,390	▲ 16,924
准 組 合 員	115,114	114,772	▲ 342
処分未済持分	6,902	9,361	2,459
計	901,330	886,523	▲ 14,807

出資1口金額 1,000円

払込済出資総額 886,523,000円

令和3年度 損益計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
1. 事業総利益	887,528,623
事業収益	2,170,969,965
事業費用	1,283,441,342
(1) 信用事業収益	338,654,653
資金運用収益	282,612,681
(うち預金利息)	(139,975,044)
(うち有価証券利息)	(48,091,966)
(うち貸出金利息)	(60,844,999)
(うちその他受入利息)	(33,700,672)
役務取引等収益	10,501,153
その他事業直接収益	39,958,619
その他経常収益	5,582,200
(2) 信用事業費用	41,049,741
資金調達費用	5,052,905
(うち貯金利息)	(4,500,004)
(うち給付補填備金繰入)	(182,089)
(うちその他支払利息)	(370,812)
役務取引等費用	4,916,092
その他経常費用	31,080,744
(うち貸倒引当金繰入額)	(2,169,259)
信用事業総利益	297,604,912
(3) 共済事業収益	286,673,705
共済付加収入	268,126,011
その他の収益	18,547,694
(4) 共済事業費用	23,296,161
共済推進費	9,905,828
その他の費用	13,390,333
共済事業総利益	263,377,544
(5) 購買事業収益	1,275,765,165
購買品供給高	1,203,488,872
購買手数料	8,101,031
修理サービス料	43,854,474
その他の収益	20,320,788
(6) 購買事業費用	1,053,756,178
購買品供給原価	1,000,233,447
購買供給費	22,368,100
その他の費用	31,154,631
(うち貸倒引当金戻入益)	(▲11,610,401)
購買事業総利益	222,008,987
(7) 販売事業収益	60,564,810
販売品販売高	2,410,874
販売手数料	44,719,807
その他の収益	13,434,129
(8) 販売事業費用	12,651,534
販売品販売原価	1,594,630
販売費	6,782,176
その他の費用	4,274,728
(うち貸倒引当金繰入額)	(39,000)
販売事業総利益	47,913,276
(9) 保管事業収益	14,821,643
(10) 保管事業費用	11,303,028
保管事業総利益	3,518,615
(11) 加工事業収益	2,113,881

科 目	金 額
(12) 加工事業費用	907,048
加工事業総利益	1,206,833
(13) 利用事業収益	162,112,415
(14) 利用事業費用	111,566,562
(うち貸倒引当金戻入益)	(▲26,002)
利用事業総利益	50,545,853
(15) 葬祭事業収益	9,536,370
(16) 葬祭事業費用	4,024,051
葬祭事業総利益	5,512,319
(17) 福祉事業収益	29,599,000
(18) 福祉事業費用	28,085,272
福祉事業総利益	1,513,728
(19) その他事業収益	419
その他事業総利益	419
(20) 指導事業収入	1,200,672
(21) 指導事業支出	6,874,535
指導事業収支差額	▲5,673,863
2. 事業管理費	885,639,908
(1) 人件費	643,339,635
(2) 業務費	76,364,557
(3) 諸税負担金	24,827,562
(4) 施設費	139,413,537
(5) その他事業管理費	1,694,617
事業利益	1,888,715
3. 事業外収益	42,172,396
(1) 受取雑利息	330,496
(2) 受取出資配当金	36,143,000
(3) 賃貸料	2,335,162
(4) 雑収入	3,363,738
4. 事業外費用	23,499,287
(1) 寄付金	10,000
(2) 雑損失	23,489,287
経常利益	20,561,824
5. 特別利益	30,047,269
(1) 災害共済金	2,447,269
(2) 一般補助金	27,600,000
6. 特別損失	40,860,820
(1) 固定資産処分損	4,150,820
(2) 固定資産圧縮損	27,600,000
(3) 減損損失	8,400,000
(4) 臨時損失	710,000
税引前当期利益	9,748,273
法人税、住民税及び事業税	1,462,580
法人税等調整額	▲819,197
法人税等合計	643,383
当期剰余金	9,104,890
当期首繰越剰余	315,430,558
会計方針の変更による累積的影響額	2,492,656
遡及処理後当期首繰越剰余金	317,923,214
税効果積立金取崩額	130,565
当期未処分剰余金	327,158,669

剰余金処分

(単位:円)

科 目	金 額
1. 当期未処分剰余金	327,158,669
2. 剰余金処分量	43,610,926
(1) 利益準備金	5,000,000
(2) 任意積立金	30,000,000
リスク管理積立金	30,000,000
(3) 出資配当金	8,610,926
3. 次期繰越剰余金	283,547,743

1. 出資配当は年1.0%の割合である。
2. 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額1,000,000円が含まれている。

令和4年度 事業計画

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

基本方針

◆ 経営基本方針 ◆

人口減少やコロナ禍等による社会・経済情勢の大きな変化により、農業・JAを取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、令和4年度は、「第6次中期3か年計画」の初年度として、不断の自己改革によるさらなる進化を目指し、基本目標達成に向けて役職員一丸となって取り組みます。

◆ 基本目標 ◆

- ◆ 農業所得の増大と農業生産の拡大
- ◆ 組織基盤の確立と地域の活性化
- ◆ 経営基盤の強化

◆ 重点実施事項 ◆

- (1) 組合員のメンバーシップ強化による組織基盤強化
- (2) 経営基盤の確立・強化
- (3) 地域の活性化への貢献

主要事業目標

(単位：千円・千ポイント)

項目	計画額
貯金(平均残高)	46,826,000
貸出金(平均残高)	6,116,000
長期共済新契約高	1,920
年金共済新契約高	60
購買事業取扱高	1,577,000
販売事業取扱高	1,200,000

損益計画

(単位：千円)

項目	計画額
事業総利益	852,249
事業管理費	841,089
事業利益	11,160
経常利益	51,465
税引前当期利益	48,465
当期剰余金	40,795

施設整備計画

(単位：千円)

施設名	資産種類	内容	事業費
志賀町カントリーエレベーター	機械装置	湿式除塵装置更新	83,000
土田ライスセンター	機械装置	乾燥機(3基)及び ルーフファン(4基)更新	63,700

各事業計画 重点実施事項

信用事業

- (1) 農業融資実施体制の構築・強化
 営農・経済部門との事業間連携による資金ニーズの掘起しをはじめ、利子補給・保証料助成の継続実施により融資伸長を図ります。
- (2) 生活資金ニーズへの対応強化
 住宅・小口ローンなど、多様なライフプランに応じた提案活動をはじめ、ネットローンを活用した効率的な推進・強化に努めます。
- (3) ライフイベントに応じた提案活動の実施
 来店機会を活用したネットバンク・JAカードのセット推進等付帯取引（メイン化取引）の拡充をはじめ、キャッシュレス決済のJA口座利用促進に努めます。
- (4) リソース創出（人材・時間）に向けた業務・事務効率化の取組み
 JAバンクアプリ・JAネットバンクの利用促進をはじめ、法人IIB等の利用促進に努め、創出されたりソースにより金融仲介機能（貸出対応、相談機能等）体制を整備します。
- (5) 不祥事未然防止・内部管理体制の構築
 不祥事未然防止への取組み強化と内部管理体制構築に努めます。

共済事業

- (1) 新たな生活様式への変化に対し敏感に取組みます。
 ・「対面」と「非対面」が融合した契約者・

組合員へのフォロー活動の実践

- ・ひと保障を中心とする「ひと、いえ、くるま」の総合保障の提供
- ・新医療共済（メディフル）をはじめ、本年新設の「認知症共済」、「農業者賠償責任共済」の普及拡大
- ・地域貢献活動を通じた、農業・地域への貢献とJA事業理解者への波及取組み

- (2) 長期安定的な事業展開に取組みます
 ・ライフアドバイザーやスマイルサポーターの体制・整備

- ・最良の保障・サービスの提供に向けた、訪問活動の質の向上と対応力強化
- ・利用者満足を意識した提案活動の充実・浸透

- (3) JA共済契約者が長期に安心できる基盤・スキームづくりに取組みます。
 ・不祥事未然防止に向けた取組み徹底・強化（コンプライアンス態勢の強化）

購買事業

- (1) 資材センターでの自己取り割引対象商品の拡充
 - (2) 購買品配送業務の効率化検討・実施
 - (3) 人材育成・技術力の向上
 - (4) 総合展示会・農業まつり・農機具安全講習会・ミニ展示会の実施
- 資材センター
- ・大口利用者へのコスト低減資材の提案及び大口割引の導入検討
 - ・仕入時期・仕入先等の工夫による予約購買の推奨

- ・営農部署との連携による肥料・農薬等の研修会実施
- ・自己取り扱点の利便性確保と営農指導の強化

- 農機センター
- ・人材育成の取組み強化
 - ・低価格農機推奨と実演試乗会の実施
 - ・農機の大形化・高性能化に対応した研修会等への参加

- ・農業機械における必要な運転免許種類の周知及び取得呼びかけ徹底

- 自動車整備工場
- ・低価格営農車両（軽トラック）の提供
 - ・販売推進力、CS向上のための研修会等への参加

- 給油所
- ・集落営農組織・大規模農家への営農燃料助成の実施
 - ・特売日やイベント・キャンペーンの実施

- ・LPガスへの燃料転換の取組み

指導事業・販売事業

- (1) 町・県と連携して人・農地プランなどを基に地域農業者の現状や将来の見通しについて実態把握を行ない、支援すべき施策を明確化して次世代農業者の確保に取組みます。また「集落営農組織連絡協議会」や「盛人会」会員との連携を強化し、管内農業生産基盤の安定化に努めます。
- (2) 「志賀米」・「能登米」コシヒカリを中心に、引き続きJA自らが直接卸先と価格交渉を行い販売するとともに、多様な販売チャンネルの取組みを行ない販路開拓に努めます。
- (3) 生産農家のニーズに応える営農支援活動の強化を図るとともに、スマー

利用事業

ト農業への取組みや情報提供など作業の省力化と生産コスト低減に取組みます。

- 育苗センター
- ・主食用品種では、県指導目標量の遵守や近年の高温気象に合せた適期播種による健苗・均一化生産に努めます。（石川県指導乾燥粒重量目標約120g/箱）

- ・播種同時薬剤散布による本田での作業労力軽減を図るとともに、高密度苗生産など低コスト・省力技術対応に取組みます。

- 共同乾燥調製施設（カントリーエレベーター・ライスセンター）
- ・主食用主力品種のコシヒカリでは、「志賀米」「能登米」「慣行米」の区分荷受けによる有利販売に努めるとともに、「ゆめみづほ」「ひやくまん穀」

- による作期分散荷受け対応など生産農家に合せた施設稼働を実施します。
- ・増穂ライスセンターでは、主食用米と飼料用米を併用した荷受けを実施し、生産農家の利便性を図るとともに利用率向上に努めます。

- ・全施設対象のスタンドバックフレコン購入助成措置をはじめ、主食用米荷受施設での利用者割引や大口割引設定を継続実施し、利用率向上に努めます。

福祉事業

- 「やさしさ」と「安心」をモットーに組合員や地域のみなさまに喜ばれ、地域で安心して暮らしていただけるよう、これからも高齢者の方々の生活を支援してまいります。

新採 職員



今川 奈津起
【金融課】

- ①猫と遊ぶ
- ②プラス思考
もの見方を変えれば、より楽しい人生につながるから
- ③ JA と組合員の方々に対する理解を深め、丁寧な業務を心掛けていきたいです。



坂本 凌
【給油所】

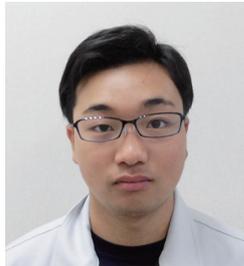
- ①バイク
- ②ありがとう
感謝をしたり、されたりすると幸せな気持ちになるから
- ③一日でも早く仕事を覚え、組合員の皆様のお役に立てるようになりたいです。

- ①趣味
- ②好きな言葉とその理由
- ③入組後の抱負



濱 頼哉
【企画管理課】

- ①フットサル
- ②我が生涯に一片の悔い無し
何をするにしても一片の悔いが残らないようにしたいから
- ③早く仕事を覚えてお客様に顔と名前を覚えてもらうことです。



加藤 好貴
【志賀営農センター】

- ①野球観戦
- ②努力は必ず報われる
自分が努力してきたことが結果として出たことがあったから
- ③お客様に笑顔でありがとうと言ってもらえるような対応をしていきたいと思っています。



定仙 大輝
【志賀営農センター】

- ①ゲーム、漫画
- ②あいさつ
あいさつは人として大事なことから
- ③組合員の方から頼られる職員になること

令和3年度 JA 農機セールスコンテスト表彰

JAグループ農機事業キックオフ大会で、令和3年度JA農機セールスコンテスト表彰が行われ、JA志賀農機センターの河野辰夫さんが、【総合台数部門】と【総合金額部門】の2部門で年間最優秀賞を受賞しました。



JA志賀独自企画

夏の貯金キャンペーン

令和4年

6月20日(月)～8月19日(金)



定期貯金 新規お取組み 30万円以上

※取組み期間1年の自動継続契約が対象となります。



キャンペーン内容

対象商品をお取組みの場合

店頭金利の 5倍

※個人の方対象のみとなります。

【注意】

- *満期日以降の利息は、解約または継続日における店頭金利となります。
- *お利息に 20.315% (国税15.315% 地方税5%) の分離課税がかかります。
- *中途解約をされた場合は、当JA所定の中途解約利率を適用致します。
- *市場金利及び経済状況により予告なく内容が変更となる場合があります。



*詳しくは窓口へお問い合わせください。 JA志賀 中央支店:32-1160 富来支店:42-2111

初夏の展示会 2022

6月11日(土)初夏の展示会を本店にて開催いたしました。

3年ぶりの開催であり、Aコープ商品、たまごの販売、キッチンカーの出店等、家族連れで賑わいました。

また、起震車体験では地震の怖さを体感し、共済加入の大切さを理解して頂きました。



富来支店年金友の会グラウンドゴルフ大会開催

令和4年6月18日(土)増穂が浦グラウンドゴルフ場で会員38名が参加して、富来支店年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は3年振りの開催であり大いに盛り上がりました。大会結果は下記の通りです。

【男子の部】

1位 三池 外司 さん
2位 山中 直治 さん
3位 井高 時博 さん

【女子の部】

1位 吉峰恵美子 さん
2位 油谷 利代 さん
3位 浦野 逸子 さん



JAグループの
特典が
いっぱい!

JAカードをご紹介します。



©よりぞう



初年度
年会費無料

(一般カード)

いつでも
おトク

JAカードのご利用で毎日の暮らしをおトクに!

JA直売所・
ファーマーズマーケットで
ご請求時に

5%割引

JA-SS・ホクレンSSで
ご請求時に1ℓにつき

2円割引

JAグループの店舗で
(直売所、給油所は除く)
通常ポイントに加えて

+2%ポイント還元

※一部対象外の店舗、施設や商品、サービスがございます。※+2%ポイント還元特典は、JAグループが運営するAコープ・購買店舗・JAタウン等の施設でのご利用が対象です。JA直売所・ファーマーズマーケット、給油所(JA-SS、ホクレンSS等)でのご利用は対象外です。※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等でのお支払いは、JAカードを登録されている場合でも本特典は適用されません。

新規入会
おトク

JAカードのご入会とご利用でポイントプレゼント!

最大 **10,000円** 相当のポイント
[2,500ポイント] プレゼント!

ご入会サクスプレゼント キャンペーン登録必要!

キャンペーン期間 JAカードご入会日(カード発行日)から**3ヵ月後末日**まで

WEBサービスのID登録で

1,200円相当
(300ポイント)

期間中のショッピングご利用金額に応じて

最大 **8,000円相当**
(最大2,000ポイント)

ショッピングご利用金額合計	2万円以上	5万円以上	10万円以上	20万円以上
プレゼントポイント数	250ポイント	1,000ポイント	1,500ポイント	2,000ポイント

携帯料金のお支払い

携帯電話利用料金のお支払いにJAカードを登録して

800円相当
(200ポイント)

*au、NTTドコモ、ソフトバンク、ワイモバイルが対象

・特典の金額はポイント交換でキャッシュバックをご選択された場合の金額(1ポイントを4円換算で交換)を記載しています。

※ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは、本ご案内記載内容の対象外です。※本ご案内記載の情報は2022年5月現在のものであり、予告なく内容を変更または終了する場合がございます。

JAカードのご入会方法



WEBから!

JAバンク口座をお持ちのお客さまは、WEBからJAカード(クレジットカード単機能型)をお申し込みいただけます。



店舗で!

お近くのJA店舗で直接お申し込みいただけます。

JAバンク
三菱UFJニコス株式会社

■ WEBからのお申し込みや、お近くのJA店舗の確認はこちら

<https://www.jabank.org/benri/jacard/>



■ 各種特典・サービスの詳細はこちら
三菱UFJニコス JAカードWEBサイト
<https://www.cr.mufg.jp/ja>



2204-32079TF